

エンジン (KF)

1-2 基本点検・調整

1-2-1 スパーク プラグ点検

警告 ・ スパーク プラグが熱いときは火傷をしないように注意する。

スパーク プラグ仕様

	KF・VE型エンジン		KF・DET型エンジン	
	メーカー	NGK	DENSO	NGK
型式	LKR7C	XU22HR9	ILKR7D9	SXU22HPR9
種類	標準	←	イリジウム	←
電極隙間(mm)	0.8~0.9	←	←	←

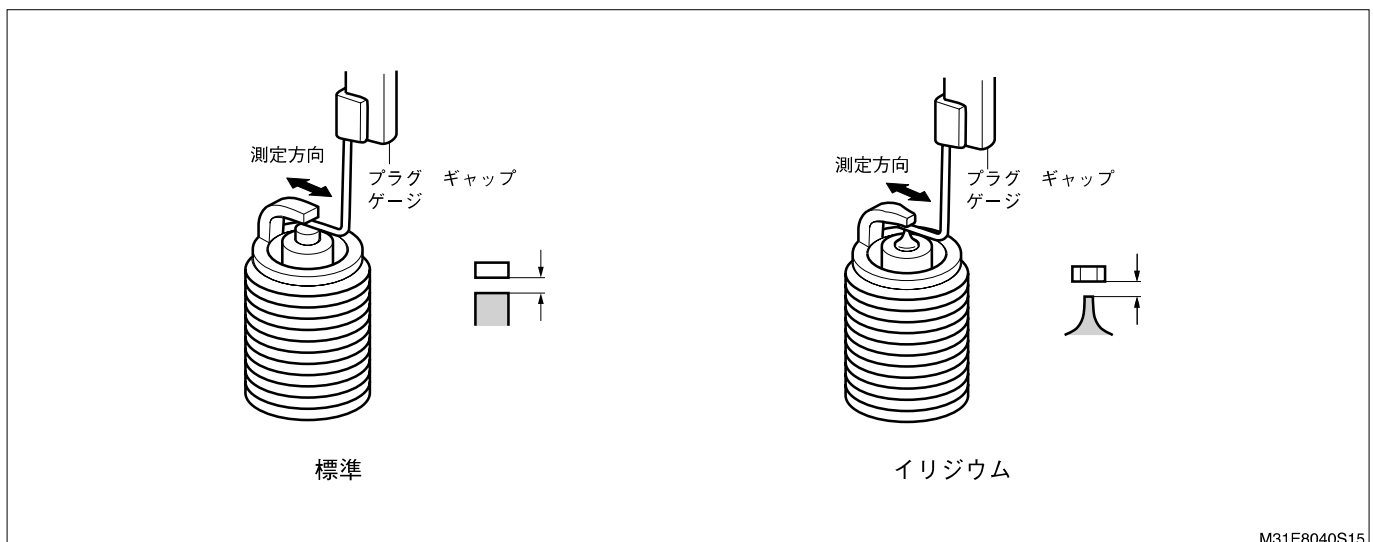
(1) 清掃

1. スパーク プラグを取り外す。
(B10.2 項 (B10-2 ページ) 参照)
2. プラグ クリーナを使用してスパーク プラグを清掃する。

(2) 外観点検

1. スパーク プラグにねじ山の破損および絶縁体の損傷がないか点検する。

(3) ギャップ点検



M31E8040S15

1. プラグ ギャップ ゲージを使用して、スパーク プラグのギャップを測定する。

基準 0.8~0.9mm

2. スパーク プラグを取り付ける。
(B10.2 項 (B10-2 ページ) 参照)

1-2-2 点火時期点検

- 注意** ・ エア クリーナは必ず装着する。
- ・ 電気負荷(ヘッドランプ、ブロワ等)はかけない。
 - ・ エアコンは"OFF"にする。
 - ・ シフト ポジションはP・Nレンジで測定する。
 - ・ 各バキューム配管の外れ、破れ等がない状態で行う。

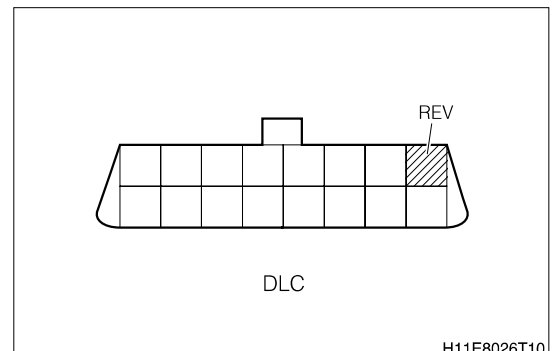
(1) 点検(DLC短絡による点検方法)

1. SSTを使用してDLCのREV端子にエンジン回転計を取り付ける。

SST 09991-87402-000
09991-87404-000

参考 ・ 09991-87404-000 は延長用ハーネスなので使わなくても良い。

2. エンジンを暖機する。(ファン モーターが 1 回作動するまで)



DLC

H11E8026T10